

冬の四季報

vol.40 初冬号

東日本大震災を受けて

新たな試み

東日本大震災後、建設業を通し、私達に何が出来るのか、日々考えてきました。環境を考慮した取組みとしては、まず『太陽光発電』。太陽光発電をお値打ちに皆様にご提供する為に、京セラソーラーエネルギーシステム販売代理店となりました。また、岐阜県から「省エネ住宅補助金対象物件」と認定された、イワタ発のスマートハウスの建設も行っています。地震への備えとして、基礎下減震システムでのモデルハウスの建設等、イワタは、日々、新しい試みを行っています。

イワタ 京セラと提携へ

今回、イワタ建設は、京セラソーラーエネルギーシステム販売代理店となり、太陽光発電を皆様にご提供する事になりました。

現在、地球環境問題に加え、原発事故によってエネルギー政策のあり方が問い直され、再生可能エネルギーの活用が焦点となっています。前号(深秋号)でも載せましたが、日本は「太陽光バブル」で、普及率も急速に伸びています。

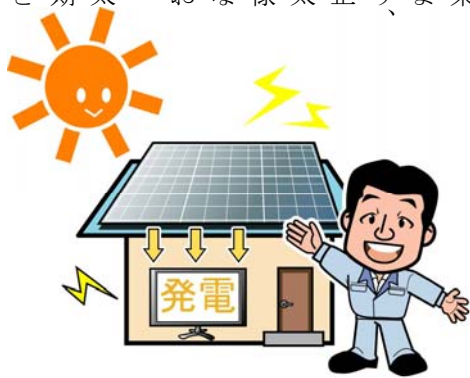
イワタ建設は、東日本大震災後、太陽光発電の設置を、独自で補助金を付け、弊社が資金援助をする形で、お客様にご提供してまいりました。そのキャンペーンも8月末で終了しました。もつと、お値打ちに、お客様に太陽光をご提案できないものか・・・京セラから、代理店契約をしませんかと、誘われたのは、そのように考えていた時でした。京セラは、第一次オ

※1 サポート力比較	京セラ	大手A社	大手B社	大手C社
保証期間	10年	10年	10年	10年
保証申込	不要	必要	必要	必要
システム構成機器に不具合が生じた場合	○	○	○	○
太陽電池モジュールの出力が保証値を下回った場合	○	○	○	○
落雷による故障	○	○	○	自然災害
台風による故障	○	○	○	自然災害
火事による故障	○	○	○	自然災害
※地震による火災は除く				
洪水による故障	○	○	記載なし	自然災害
機器の損害についての考え方	設置時と同等のシステムを保障	全損で保険限度額に達した場合失効	上限300万円	上限200万円

太陽光 今がチャンス

イワタ建設は、上記に述べた環境問題等への配慮は勿論の事、不景気の昨今、一つの事業として、太陽光発電を考えております。投資先を検討する場合、決め手となるのは、やはり「ローリスク ハイリターン」の商品ではないでしょうか？他メーカーの太陽光発電のチラシを見ると、10〜15年以内で、太陽光パネル代を返済し終わり、その後の収入は、全て貯蓄出来まうと言う計画が多いようです。今回、イワタ建設が京セラと提携したこと、初期投資費用(太陽光パネル)の価格が、今までに比べて、大変安価になりました。皆様は、その分返済が早く終わり、いち早く、貯蓄が始まるという、メリットがあります。しかも、先日の週刊誌によれば、ここ一年で、太陽光発電パネルの価格は4割程、安くなったそうです。ですが、政府などからの補助金や売電価格は、1年単位で政策を練るので、未だ高いままです。皆様もご承知の通り、来年3月には、大幅に改正されると思いますので、太陽光発電をご検討の皆様にとつては、今がまたとない、チャンスだと考えております。

今だからお勧めできる「太陽光発電」、是非この時期に、ご検討いただいではどうでしょうか？



岐阜県認定 省エネ住宅対象物件

清本町分譲地内にて、現在モデルハウスを建設中です。今回のモデルハウスのポイントの一つ目は、何と行っても、イワタ初の「スマートハウス」です。太陽光発電は勿論の事、家庭用燃料電池(エネファーム)や、蓄電池、HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)の略を導入した、次世代型の最新住宅になる予定です。エネルギーの三つの要素である、「創エネ(太陽光発電・燃料電池)」「省エネ(ヘムスで「見える化」)」「蓄エネ(蓄電池)」。3点揃った今回の取組みには、岐阜県も注目し、「省エネ新エネシステム導入支援補助金」対象物件と認定し、県から700万円前後(2棟認定 1棟約350万円)の補助金が支払われる、県・イワタの一大プロジェクトとなっています。

地震への備え(減震システム)

今回のモデルハウスのポイントの二つ目は、地震の備えです。地震の揺れへの備えは、たくさん方法があります。偽装で話題となった「耐震」という考えから、最近「免震」「制震」等という考え方がありました。そして今、新たに「減震」と言う考え方があります。

各々、工法の特徴を、表にまとめてみたので、ご覧下さい。(※2参照)

今回、弊社が行う基礎下減震システムは、今までに無い考え方、地盤と基礎の間に、シートを敷き、大地震による揺れをカットする工法です。メンテナンスも不要で、ゴムの取替えが必要になるなどと言ふ心配ありません。現在、清本町分譲地内にて、記念すべき1棟目を、建築中です。

少しでも皆様に、住みやすく、高品質なものを、そして、より安価にご提供できるよう、これからも努めてまいります。皆様、これからの、どうか宜しくお願いいたします。

※地震への備え	耐震	免震	制震	減震
特徴	建物全体を硬く固定する事で衝撃に耐える工法	建物の基礎と土台の間を可動体とし、揺れを吸収する工法	建物の一部に可動部分を設け、揺れを吸収する工法	地盤と基礎の間を可動体とし、揺れを吸収する工法
揺れの軽減率	0%	85~90%	20~50%	震度5以上に効力有
価格	普通	高額	少し高額	安価
対応建物	主に大型建物	自由	自由	自由